

伊豆シャボテン動物公園 

白と黒、兄弟で体色が違う インドタテガミヤマアラシの赤ちゃんが誕生

～ ラマの赤ちゃんもすくすく成長! ～

2025年6月3日

株式会社伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン動物公園では、2025年4月21日(月)に、太陽の広場エリアの「ヤマアラシ展示場」で暮らすインドタテガミヤマアラシの父「ケン」と母「ハイネ」の間に2頭のオスの赤ちゃんが誕生しました。当園でのヤマアラシの繁殖は16年ぶり、母「ハイネ」は初産です。出産当初、赤ちゃんたちは安全確保のために群れとは隔離した場所で両親と水入らずで過ごしておりました。それから生後1か月を経過し順調に成長しているため、5月21日(水)より親子の住まいを展示場に移動して一般公開を始めました。今回誕生したインドタテガミヤマアラシの赤ちゃんたちは、1頭が両親と同じく全身が黒褐色で、もう1頭は白色をしており、大変珍しいことですが一緒に生まれた兄弟で体色が違います。2頭はとても仲が良く、父と母に守られながら寄り添うように生活しております。

また、ロックガーデンの高台にある「ラマ展示場」では、4月29日(火)に母「かぼす」にメスの赤ちゃん1頭が誕生しました。「かぼす」は初産ですが、まめに赤ちゃんの世話をしており、授乳をしたり母子2頭が並んでくつろいだりと微笑ましい姿をいつも見せてくれています。

梅雨を前に誕生した動物たち。すくすくと成長していく赤ちゃんをどうぞ温かく見守って下さい。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4 TEL：0557-51-1115 (代) URL：<https://shaboten.co.jp/>

インドタテガミヤマアラシ



Indian crested porcupine

【英名】Indian crested porcupine

【学名】*Hystrix indica*

【分類】齧歯目 ヤマアラシ科

【分布】インド

【生態】主に植物の根や果物などを食べる草食性です。地中に巣を作るため穴掘りが得意で、群れで暮らす習性をもっています。

頭から肩にかけて長く黒っぽいタテガミが生えていることが特徴的で、名前の由来にもなっています。背中とお腹の横には、白黒まだら模様で“返し”が付いた 50cm ほどの棘が生えており、これを逆立てて威嚇することにより外敵から身を守っています。



【当園のインドタテガミヤマアラシ】

太陽の広場エリアの「ヤマアラシ展示場」にて 2025 年 4 月 21 日(月)、オス 2 頭(1 頭は黒褐色、1 頭は白色)が誕生しました。

赤ちゃんの体長:約 20cm、体重:約 1kg。

夜行性のため、昼間は展示場内に設置された U 字溝などの物陰で眠っていることが多いのですが、朝や夕方の給餌の時間は活発に行動する姿が見られるチャンスです。

ラマ



Lama

【英名】Lama 【学名】*Lama glama*

【分類】偶蹄目 ラクダ科

【分布】南米アンデス、ボリビア西部、チリ北東部、アルゼンチン北西部の標高 2,300m ほどの高地

【生態】ラクダ科ですが、背中のかぶがないため「コバナシラクダ」とも呼ばれています。頸や四肢は細く長く、耳は大きく、尾が短いのが特徴で、外見のよく似たアルパカ、ビクーニャ、グアナコの近縁種です。性格は温厚ですが、怒ると胃の中のを吐き出し、相手にかけることがあります。草食性で、他の草食動物がさけるようなトゲのある植物やひからびた植物、アルカリ性の強いアカザ科植物などを食べることもあります。



【当園のラマ】

2025 年 4 月 29 日(火)に 1 頭のメスの赤ちゃんが誕生しました。

赤ちゃんの体長:約 100cm、体重:約 25kg。

ロックガーデンの「ラマ展示場」は高台に位置するため、母子よく似た純白の 2 頭が並ぶ姿を遠くからも見ることができます。母ラマにはジップラインを使っておやつを青草をあげることができます。

※赤ちゃんの体調や天候により、ご覧いただけない場合があります。

